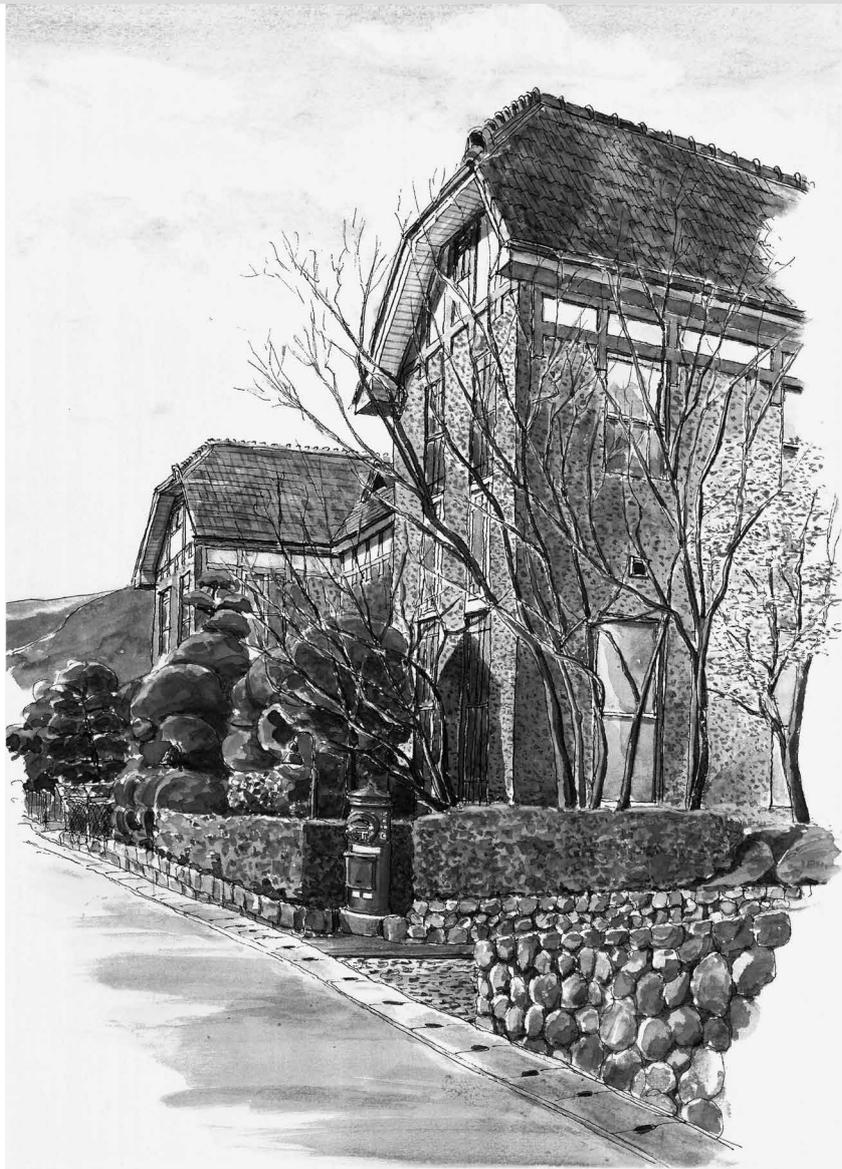


建築士

おおた

春季号

2022 NO 128



公益社団法人 大分県建築士会

CONTENTS

01 公益事業の成果	別府支部 籠田真一郎 佐賀関支部 渡邊 豊基 臼杵支部 松井 健児 大分支部 市野瀬康平
10 安政の大地震から学ぶもの	公益財団法人廣瀬資料館 園田 大
11 安政6年のコレラと日本	公益財団法人廣瀬資料館 園田 大
14 積算講習会を受講して	佐伯支部 福井 大輔 大分支部 荒木 明
16 七島閣ワークショップ「おおいた」へ参加して	事務局 丹生 和美
17 九州オルレ「奥豊後コース」をめぐる	事務局 福田 梨恵
18 インフォメーション（支部便り）	宇佐支部 椛田 康一 西胤 和弘 大分支部(事務局) 安倍 秀士
23 我が街の建築士紹介	玖珠支部 宇佐 夏季 日田支部 安養寺哲矢 日田支部 山下 智 中津支部 尾垣 俊夫
24 マイワーク	大分支部 高橋 大介 大分支部 丹生 孝太 別府支部 幸 康史 別府支部 三ヶ尻隆浩
26 マイベストブック	佐賀関支部 井上 雅順 臼杵支部 松井 健児 佐伯支部 長田 孝治 豊後大野支部 伊東 勇治
28 我が街紹介	大分支部 今永 和浩 佐伯支部 長田 孝治
30 マーポーの旅先日記	会長 井上 正文
32 事務局だより	大分県建築士会事務局



■ 表紙説明 ■

表紙のイラスト

野口病院

設計：別府支部 新山 俊則

別府支部 籠田 真一郎

九州まちづくり塾in姫島について

1. はじめに

九州まちづくり塾は、九州ブロックのまちづくり委員会の主催で、地域のまちづくりを学び、各地での活動に活かしていくため、各県持ち回りで毎年開催されています。今年度は当初、建築士の集いの前日に開催する予定が、新型コロナウイルスの影響で延期されていました。今回新型コロナウイルスの影響の間隙を縫って、12月11日に開催することとなりました。

その舞台は「姫島」です。なぜ姫島かという、昨年度から国東半島に関係する別府、国東、高田、宇佐の4支部の合同で、国東半島の海岸景観調査を実施しており、海からの景観を考えていくうえで、姫島の位置づけは非常に重要なもので、また、姫島の文化や人財はポテンシャルが高く、ぜひ多くの方にそれを知っていただきたいということからでした。

元々、コロナ前に建築セミナーを姫島でという企画を検討していたことから姫島開催という運びとなりました。

2. 日程・プログラム

姫島といえば、大分大学の姫野先生が、姫島の文化的な景観の調査をされていて、姫島とゆかりが深いということがあって、是非先生にこの企画にご尽力をいただきたいということになりました。先生は即座に快く引き受けていただきました。

また、事前の調査に行く中で、姫島には移住してきた方、一旦姫島から離れて姫島に戻ってこられた方、ずっと姫島で過ごされてきている方など非常に魅力的な女性がいらっしゃることがわかり、当初はそういった方々に姫島の魅力を語っていただくという企画を検討しました。

最終的に日程調整がつかなかったこともあり、姫野先生と、姫島に移住された堀内さんに基調講演をいただくこととなりました。

また、その基調講演に先立ち、姫島の景観を海からと陸から見てもらうということで、船からみた海からの景観と、モビリティカーを使って陸からの景観を体感してもらいました。

参加者は九州ブロックのまちづくり委員7名、大分県から11名の計18名の参加で行われました。コロナの影響がなければもっと多くの方に参加していただきたかったのですが、こういう状況でしたので少人数での開催となりました。

令和3年度 九州まちづくり塾in姫島 「島の暮らしを支える景観」



日時 令和3年12月11日(土)

【プログラム】

12:15 伊美港出発～船にて姫島周回
14:00 超小型モビリティカーにて島散策
(姫島IA일랜드センター コワーキングスペースへ移動)
15:30 基調講演① 堀内悠氏 「姫島の大地の成り立ちとジオパーク」
16:00 基調講演② 姫野由香氏 「島の暮らしを支える景観」
(質疑応答)
17:15 終了予定

<p>基調講演① 「島の大地の成り立ちとジオパーク」 講師 堀内悠氏 おおいに姫島ジオパーク推進協議会専門員</p>	<p>プロフィール 大分生まれ、博士(理学)。 筑波大学第一学群自然学専攻農産、同大学院博士課程自由環境学専攻地球環境化学専攻を修了後、独立行政法人産業技術総合研究所を経て、平成26年姫島村役場企画課長、現在に至る。</p>
<p>基調講演② 「島の暮らしを支える景観」 講師 姫野由香氏 大分大学理工学部創生工学科建築学コース助教</p>	<p>プロフィール 大分生まれ、博士(工学)。 大分大学大学院工学研究科建設工学専攻を修了後、大分大学工学部建設工学科助手を経て、2017年より現職。専門は建築・都市計画(景観まちづくり)・市街地再生。 主に文化的景観維持における住民参加に関する研究や姫島や中山間地域における地域運営の持続可能性に關して研究。著書に「住み継がれる島をどうする」(共著、学生出版社)、「地域景観を支えた市民活動とまちづくり」(共著、福歌堂)ほか。</p>

公益社団法人 大分県建築士会

プログラム

3. 海からの景観体験

伊美港から2艘の漁船に分かれて乗船し、姫島を一周し、海からの景観を見ていただきました。

参加された皆さんの日頃の行いが良かったのか、天気もよく、非常に快適なクルーズでした。なかなか見ることができない海からの姫島の景観を堪能していただきました。



船から景観体験の様子



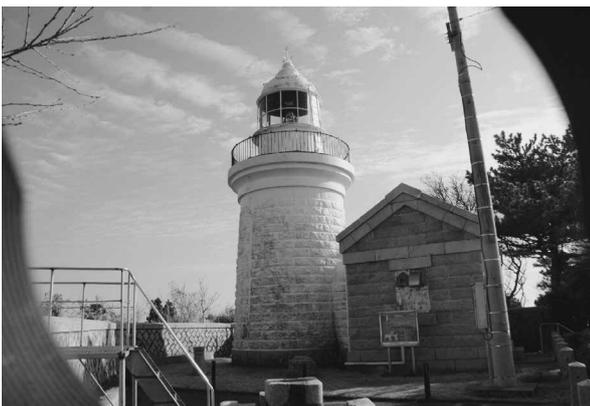
姫島灯台付近の海からの景観

4. 陸からの景観体験

姫島に上陸していただき、そこからモビリティカーを使って、それぞれ姫島を巡っていただき、陸からの景観を体験していただきました。



モビリティカー（2人乗）



姫島灯台

5. 基調講演①

旧校舎をリノベーションして造られた姫島ITアイランドセンターワークスペースを会場として、基調講演を行いました。まず、「姫島の大地の成り立ちとジオパーク」と題して、おおいた姫島ジオパーク推進協議会専門員の堀内悠氏に講

演いただきました。

堀内さんは、大分市の出身で、ジオパークの専門員として姫島へ移住された研究者で、講演では、姫島の地形や成り立ち、またジオパークの取り組みなど非常に興味深い内容のお話を伺いました



基調講演①

6. 基調講演②

続いて、大分大学助教の姫野由香先生に「島の暮らしが支える景観」と題して講演をいただきました。

姫野先生は姫島の文化的景観の選定や景観計画の策定に携わっていて、講演では、島の暮らし、生業と景観の関係性などについて詳しくお話を伺うことができました。また、ジオラマ模型も活用していただくことによって、姫島の地形や位置関係など、よりわかりやすい講演となりました。



基調講演②



ジオラマ模型を活用した講演の様子

7. ジオラマ模型について

今回の九州まちづくり塾の開催にあわせて、大分県建築士会の工作部（？）の椛田宇佐支部長と幸（孝）別府副支部長が姫島の1/3,000のジオラマ模型を製作しました。

非常にレベルの高い仕上がりで、参加者の皆さんや講師の先生方も感心されていました。また、姫島村長も興味を持っていただき、当日、会場にお見えになり、非常に興味深くご覧になっていらっしゃいました。

現在は、姫島で活用していただくため、おおいた姫島ジオパーク拠点施設「時と自然の希跡ジオパーク 天一根」の展示室に展示されています。



ジオラマ模型

8. おわりに

コロナ禍の中での開催でしたが、参加された皆様からは、非常に良かったという感想を多くいただき、成功裏に終えることができたと思います。

本来であれば、夜は懇親会を開催するところですが、コロナ禍ということもあり、あくまで「食事会」とさせていただきます。その内容につきましては、ご想像にお任せします。

今回、企画、運営は国東半島に関係する別府、国東、高田、宇佐の4支部の合同で行いましたが、今後、複数の支部が連携しながら進めていくことのモデルとなっていくことを期待しています。

今回の開催にあたり多くの皆さんにご尽力、ご協力をいただきました。この紙面をお借りして感謝とお礼を申し上げます。



令和3年度 公益事業の成果

佐賀関支部

佐賀関支部 渡邊 豊基

「幕末の志士が往還した佐賀関街道を 小学生と巡るウォーキング大会」について

今年度の公益事業は、江戸時代末期に「坂本龍馬や勝海舟」らが、佐賀関から長崎への旅程で往還した歴史的史実と、旧佐賀関街道（関往還）のルートを踏査・検証しつつ、沿道にある歴史的建造物等を掘り起し、次代を担う地元小学生や大学生とウォーキングしながら巡り、歴史を学習し地域を好きになってもらうことを目的としました。

この活動に、賛同・協力する団体・企業としては、神崎校区まちづくり協議会・NPO佐賀関ボランティアガイド協会・NPO福祉コミュニティKOUZAKI・日本文理大学・鶴崎歴史文化研究会・SPOおおいた・佐賀関ローカルデザイン会議・くろめカンパニーの7団体・1企業で、それぞれ佐賀関地域のまちづくりのため独自活動を展開していますが、今回、本支部の呼びかけにより、活動の趣旨に同意され、共同開催となりました。



(合同会議)

大会までの準備として、3回の合同会議と2回の旧街道の探索と沿道の歴史的建築物や建造物の調査。草刈や清掃活動及び各種案内板や道標の作成、設置を実施しました。



(道しるべ設置)

さらに、小学生にわかりやすいガイドブックの作成をしました。

(A5サイズの扱いやすい ガイドブック)



大会は、11月6日の秋晴れの中、建築士会会員6名、一般参加3名（内小学生2名）、地元小学生4名、教師5名、大学生28名、教授2名、賛同団体15名の合計63名が、道の駅佐賀関へ集合し、開会式を挙行了しました。



(開会式)

各団体から歓迎の挨拶ののち、主役の小学生6名から、決意を発言していただき、元気と勇気を感じたものです。

また、この小学生をサポートする大学生を6つのグループに分け、それぞれのリーダーからも、サポート宣言をしていただきました。



(共催団体代表のあいさつ)

この間に、初対面の小学生と大学生が、すっかり仲良くなり笑顔で手を繋ぐ様子もあり、主催者として目を細めることが出来ました。

さて、これからがガイドの出番です。冒頭、ボラガイドから「龍馬と海舟がなぜ佐賀関から長崎まで徒歩で街道を往還したのか」等、歴史的な背景を説明しました。

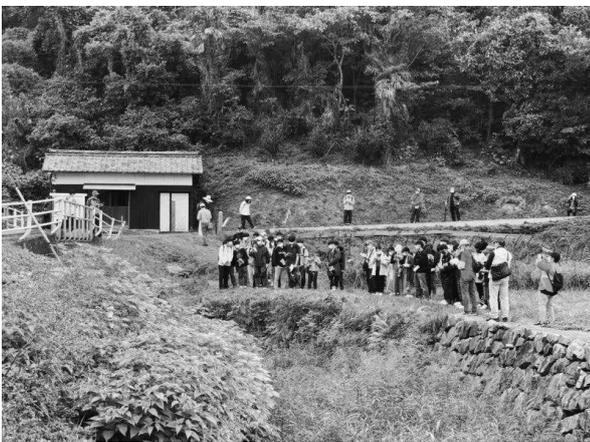
その後、本会から道の駅佐賀関の建設事業概要とB級グルメとして有名になった「クロメたこやき」の誕生秘話を説明しました。

これから、街道を約5km歩きながら、その途中でガイドをしていきます。

次のガイド箇所は、大平地区の「生野瓦工場」です。この地区には、約300年前から、瓦産業が盛んになり、その起源は、熊本の加藤清正公が、早吸日女神社の建立の際、四国の宇和島から職人を招聘したとのと。

生野瓦工場の創業は、大正元年で、県内の歴史的建築物の屋根瓦改修工事に携わり、過去には、日本建築士会連合会賞を受賞しています。瓦は建築にかかせないことを説明しました。

次のガイド箇所は、西大平地区の「西谷橋」です。この橋は、江戸時代に建造されており、街道筋で唯一残存する石造のアーチ橋です。市の有形文化財に指定されていることを説明しました。



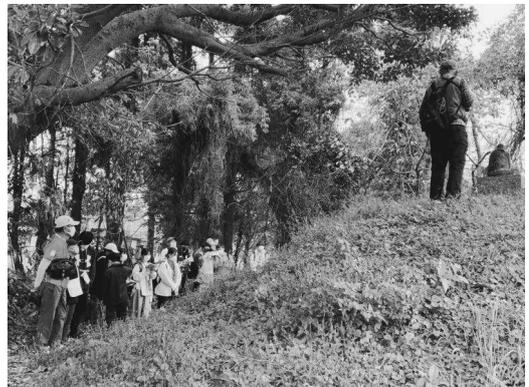
(対岸から西谷橋を望む)

次の説明箇所は、「佐賀関鉄道廃線敷き」です。佐賀関鉄道は、昭和初期に建造され、(現) JX金属「(旧) 日鉱金属佐賀関製錬所」で生産された銅製品の出荷や、市民の公共交通機関として昭和38年まで利用されていたことを説明しました。説明した箇所には、鉄道駅のホーム跡があり、その歴史に触れていただきました。



(佐賀関鉄道廃線敷きとホーム)

次の説明箇所は「中の原古墳、築山古墳」です。それぞれ5世紀から6世紀の地元有力者の墓であり、特に築山古墳については、国の重要文化財に指定されていることや、現在においても「石棺さま祭り」が開催され、地域が賑わっていることを説明しました。



(中の原古墳)



(築山古墳の説明)

次の説明箇所は本神崎地区の「教尊寺」です。この寺は、江戸時代に建立され、熊本の細川藩との関係が深く、参勤交代の折には宿泊・休憩する「間」があり現存しています。

特に経堂は、県が指定文化財に指定し、修復したことを説明しました。また、住職の特別な計らいにより、経堂の内覧を許可され、厳かな空間を堪能できました。



(教尊寺経堂)

次の説明箇所は、「馬場条理」です。条理は、大和王権の統治後、大化の改新で班田収授の制が制定され、口分田として整備されたことを説明しました。

さて、ここで時計を見ると、なんと11時30分ではないか。…行程スケジュールでは10時30分頃と予定していましたが、ガイド役の熱い説明のため、大幅に時間超過していることに気づき、短縮のため馬場古墳は、小猫川の河畔から説明することに急きょ変更。

馬場古墳は、5世紀ごろの前方後円墳です。先の戦時中、防空監視所が設置されたことから、墓の内部は不明であることを説明しました。

なお、馬場地区のまちづくり協議会のみなさんには、道路横断や現地待機までしていただきながら、恐縮でした。(謝)

最後の説明箇所は、神崎海浜公園です。この海岸は、新産都計画により海が埋め立てられ、工場が誘致される予定だったものを、地域の方が海岸を残すことの反対運動を展開し、その結果、埋め立て計画は凍結され、うみがめが還ってくる海岸に再生したことや、周年に渡り、海岸での活動が出来る公園づくりに邁進したことなどを説明しました。

時刻は、丁度12時になり、地元まちづくり協議会とくろめカンパニーのご厚志により、お弁当と豚汁とくろめたこ焼きの昼食会を開催。

グループでテーブルを囲み、和気藹々と食事しました。



(楽しい食事会)

食後の閉会式にて、各団体及びこうざき小学校長から講評をいただき、小学生全員と大学生のグループリーダーから、感想を発表していただきました。

一様に、「楽しかった。勉強になった。もっと地域のことを知りたい。」等の意見があり、小学生や大学生はガイドの説明を良く聴き取り、しっかりと理解していることに感激です。

来年度は、ガイドに行けなかった馬場地区からのスタートとすることで、関係団体共々、確認し無事に閉会したところでございます。

最後に、本大会の開催に賛同・協力いただいた諸団体や企業及び会員へ、書面をお借りして感謝申し上げます。

追伸①、大分合同新聞に本活動の記事が掲載されましたので、添付します。



追伸②、地元ケーブルテレビの「佐賀関テレビ」の同行取材を受け、その様子がyoutubeにUPされていますので、URLをお知らせします。興味のある方は、是非アクセスしてみてください。

<https://www.youtube.com/watch?v=DdgdhF4v2rM>



(youtubeトップ画面)

令和3年度 公益事業の成果

白 杵 支 部

白杵支部 松 井 健 児

歴史を尋ね、未来へ紡ぐ

白杵支部では、3年前より「空家調査」を行い、その活用について協議する活動を行っております。



写真1：空き家調査

活用方法については、町並み学習会で先進地や活動中の地域の事例を学んだり、見学に行ったりして検討しました。



写真2：実地見学

そこで、一つの結論に達しました。

空家活用にあたって、民間のプロデューサーを中心に、移住希望者、空家保有者、行政は補助、金融、不動産、改修の設計・施工（士会）等で周りを固める図式を作る事が重要であると。

そのため、中心となるプロデューサーを育成するために、どうすれば良いかとの協議へ移行しました。

協議を重ねまず、我々が理想とする姿を体現している方を呼んで話を聞こうということになり、人選を進める事となりました。そこで、まず白羽の矢を立てたのが、NPO法人まちなみ活用支援ネットを立ち上げられた酒井理事長です。



写真3：協議

あらかじめ空家を調査しどのような改修が必要か検討しデータとして貯めておく、そこで、移住希望者が居れば話を聞き、最適と思われる空家を紹介し、行政への補助金の申請手続きを手ほどきし、その他の手続きの手伝いをし、設計者や施工者を紹介し移住者自らが動き、自分の決断で移住し空家を購入し、その後についても自己責任で行うよう話ながら、全ての相談にのるという事を一人で行っている方です。

まさに、こういう方が白杵に居ればという方です。しかし昨年来のコロナの影響と、ご本人が我々と同じような考え方の自治体や団体から招かれ日付の調整が、困難でした。そして、今年、感染状況を見ながら、11月頃に開催しようと考えていたところ、これまで一緒に協議してきた行政が、城泊をきっかけに主催してくれることとなり、「歴史を尋ね、未来を紡ぐ」をテーマでセミナーという形で、11月19日中央公民館にて、その他バリューマネジメント(株)田力野社長、観光庁の川口氏、キタマネジメントの村中局長を招き開催することができました。



写真4：セミナー

理想形への道のりは長いですが、城泊を行う運営会社が立ち上がれば、その会社を中心に空家対策は、進捗していこうという希望ができました。

大分支部 青年部まちづくり班 市野瀬 康 平 おおいた戦後モダニズム建築研究会について

大分市内には、戦後に建てられたモダニズム建築が多く存在していますが、近年その建物価値がきちんと評価されないまま解体されていく事例が見受けられます。大分支部青年部まちづくり班では、おおいた戦後モダニズム建築研究会として、現存する建物の調査及び記録を行い、建築文化を後世へ適切に継承していく取組を行っています。

調査に当たっては、大分大学理工学部の鈴木研究室及び大分県住宅供給公社から協力をいただきました。

令和3年度は6つの建物を調査しました。

1つ目は大分県住宅供給公社ビルです（図1）。1971年の建設時は現在も利用されている住宅供給公社の他に、大分県婦人会館、大分県消費者センターの3つの企業が入居する複合ビルでした。設計は藤沢英雄氏（大分市出身、藤沢建築設計事務所@大阪）です。外観は、片持ちで支えられたバルコニーの手摺部分が、縦方向の細い2重の間柱と水平の梁により格子状となっているファサードが特徴的です。内部を見ると、旧婦人会館側はかつて結婚披露宴なども行われていたことから、意匠の凝らされた内装仕上げとなっており、特に照明器具のカバーのデザインが魅力的でした。



2つ目は、1959年建設の大分県地域づくり機構ビル（大分県土地開発公社）です（図2）。特徴的なのは片持ちのバルコニーや、東部分のガラスの連続窓で構成される階段室で、繊細で、昭和の懐かしさも感じさせるデザインでした。



3つ目は、1966年建設の中島住宅です（図3）。かつては賃貸住宅として利用されていましたが現在は閉鎖中です。階段室を境に、左右の各住戸が半階ずつスキップしている面白い設計となっています。



4つ目は、1964年建設の大空住宅です（図4）。かつては1階を店舗、2階以上を賃貸住宅として利用していましたが、こちらも現在は閉鎖中です。欧米風のダストシュートのようなものが確認され、当時の設計者の創意工夫が見られました。



6つ目は、1964年建設の府内町にある若竹ビルです（図6）。設計はSANKEN Architect Design Roomです。



5つ目は、1972年建設の旧湯布院公民館です（図5）。設計は大分の設計業界の先がけ的存在である辻設計の辻隆司氏です。



以上の6建物の記録をホームページに取りまとめて公表しています（図7）。

<https://sites.google.com/view/oita-kenchikusikai>

令和4年度も引き続き他の建物の調査を行い、冊子の発行やまちあるきツアーなどを企画できたらと考えています。



安政の大地震から学ぶもの ～かわら版と新聞が価値と未来を伝える～

公益財団法人廣瀬資料館 園 田 大

令和4年(2021年)1月22日の夜中に日向灘を震源とする地震が勃発しました。日田在住の私は携帯電話の情報で起こされました。今回は江戸時代に発生した安政の地震をみましょう。

■地震大国の日本

「地震・雷・火事・おやじ」とあるように、昔から地震は恐ろしいものでした。安政年間(1854年～1859年)だけで7回の地震が発生しました。

- 1・安政元年(1854年)6月15日
伊賀・伊勢・大和地震 M7.25
- 2・安政元年(1854年)11月4日
安政東海地震 M8.4
- 3・安政元年(1854年)11月5日
安政東海地震 M8.4
※2・3は32時間の間隔で2度地震
- 4・安政2年(1855年)8月3日
安政仙台地震 M7.25
- 5・安政2年(1855年)10月2日
安政江戸地震 M6.9
- 6・安政3年(1856年)7月3日
陸奥沖地震 M7.5
- 7・安政5年(1858年)2月26日
飛越地震 M7.1

安政年間だけで7回地震が起きて、安政元年と同2年だけで5回も日本全国で地震が発生しました。この時期の地震をみると、繰り返し地震が起き、安政元年11月4・5日のように同時に発生もしました。

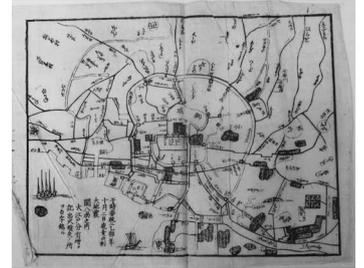
27年前の阪神淡路大震災と安政2年の安政江戸地震は首都直下型地震で、両者は被害が家屋の倒壊による死者が過半を占めていました。

■昔も今も変わらない

江戸時代の人たちは如何様にして情報を収集したのでしょうか。現在と比較しましょう。

- | | |
|------|---------------|
| 江戸時代 | 1・かわら版(新聞・木版) |
| | 2・書簡(書写) |
| 現 在 | 1・ネットとメール(機材) |
| | 2・新聞(印刷) |

江戸時代は木版文化が盛んで教科書が刊行され、身分を問わずに識字が高く、誰もが書簡を書いて記録をしました。木版のかわら版は紙1枚で日本全国に広がり色は黒色の一色刷りと多色刷りの2種類がありました。余談ですがテレビを見ると、江戸時代の古文書が紹介され、膨大に残っているのはこのような背景がありました。



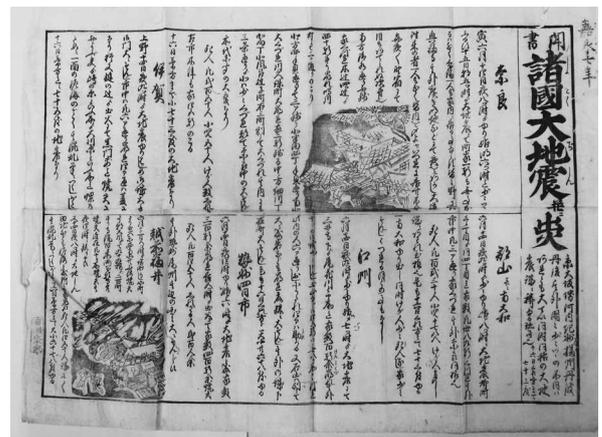
江戸時代の社会をみると、江戸と今も2点の共通点があります。

- 1・実は内容が違っていても情報収集をしています。江戸は書簡で私達は機材を駆使して状況を探しています。
- 2・江戸はかわら版、現在は新聞が全国にあります。これにより全員が情報を共有し、危機感を持つようになります。

このような私たちの仕草は江戸時代から受け継がれたものでしょう。

今回は安政の地震を紹介しました。皆さんも情報収集にあたって、機械よりも新聞に時間をかけてみてはいかがでしょうか。新たな発見があるかもしれません。

次回は安政元年11月付廣瀬久兵衛書簡から安政南海地震をみていきましょう。



安政6年のコレラと日本

公益財団法人廣瀬資料館 学芸員 園田 大

「コロナ」が深く感染したなか、安政6年（1859年）の「コレラ」は如何でしょうか？4通の広瀬旭荘書簡からは当時の日本の感染状況が解ります。

■書簡の登場人物

広瀬旭荘（1807～1863）

福井県滞在 淡窓の弟



広瀬青邨（1819～1884）

大阪滞在 淡窓の養子



広瀬林外（1836～1874）

日田滞在 旭荘の子供



■第1通 「広瀬青邨宛」安政6年9月3日付 広瀬旭荘書簡

最初の書簡では福井県での「コレラ」の流行が窺えます。

- 福井県はコレラが大流行して死者は解らず、福井県では人がどんどん減り外国人が持ってきたとの噂が広がっています。
- 私の病は四分程の回復のみで、三国で保養し居留に決めました。

ここでは福井県の状況を報告し、三国にも「コレラ」が流行り、死者数は不明、福井の人達は外国人が持ってきたと述べ、旭荘自身も体調が優れず三国で保養しています。2通目は日本の感染状況が窺えます。

■第2通 「広瀬青邨・広瀬林外宛」安政6年9月13日付 広瀬旭荘書簡

2通目には旭荘が体調不調、江戸・大阪の被害を日田に報告しました。書簡からは現在を上回る死者数です。



- 下痢が止んだら腹痛を起こします。
- 死者数は江戸が14万8000余人、大阪は4万人、京都は不明です。

ここで都会の被害状況が日田に伝わりました。旭荘は、下痢と腹痛をおこしました。都会での死者は江戸が14万人・大阪は4万人・京都は不明とあります。次の3通目は旭荘の体調良好が窺えます。

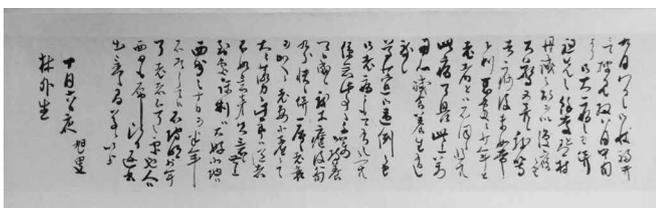
■第3通 「広瀬青邨・広瀬林外宛」安政6年9月15日付 広瀬旭荘書簡

3通目には旭荘の体調快復を報告します。

私の病が今日回復したのは祖先の御蔭です。
今回の事件の内容は後日報告します。

旭荘は9月15日から体調が快復、祖先の御蔭と報告します。今回の「コロナ」が2週間であるように、最後の4通目は体調不良の林外が快復したことに安心したものです。

■第4通 「広瀬林外宛」安政6年10月6日付 広瀬旭荘書簡



4通目は息子の林外宛で旭荘が安心した書簡です。林外は8月20日からコレラで体調不良のため、田主丸から医師が来訪し、金額は24両もかかりました。

林外の8月中旬からの大病は、祖先の御蔭と青邨の熱意で直ぐに回復し、驚きとうれしさでいっぱいです。

青邨の御蔭で林外は介抱し、3通目と同様に祖先の御蔭と述べています。旭荘と林外は親子です。父の旭荘は息子の快方に安心したのでしょう。

今、私達は「コロナ」と立向っています。しかし、江戸時代は恵まれない環境で「コレラ」と闘い、多数の死者もでました。この時期だからこそ過去を振り返ってみては如何でしょうか。

現在の「コロナ」を見て、160年前の「コレラ」に先人はどのように感じるのでしょうか？今回も安政6年（1859年）付の書簡3通からみましょう。

■登場人物

広瀬久兵衛（きゅうべえ・1790～1871）福岡県滞在 淡窓の弟・広瀬家第6世



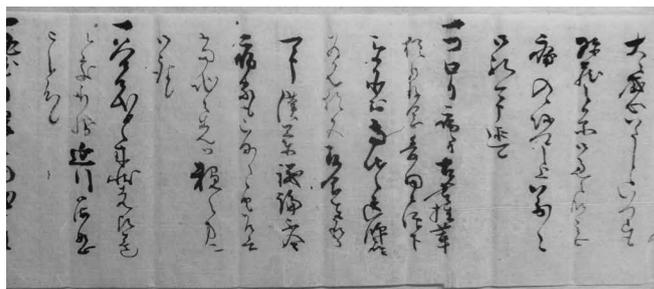
広瀬源兵衛（げんべえ・1815～1891）日田滞在 久兵衛の子供・広瀬家第7世



広瀬青邨（せいそん・1819～1884）
大阪と中津滞在淡窓の養子・咸宜園4代目塾長



相良善治（ぜんじ・?～?）
豆田町の医者



●コロリ病について書籍では御存じですが、福岡の医者は東洋医学か西洋医学の議論が纏まらず、病院も大変になりました。

「コレラ」について、既に福岡では東洋医学と西洋医学が広く普及していましたが、その一方では病院が逼迫しました。現在も病院が患者を受け入れに苦労しています。

最後の7通目は「コレラ」が治まりつつあることを伝えています。

■第7通 安政6年10月2日付広瀬源兵衛宛 広瀬青邨書簡

7通目は実家の中津に滞在の青邨が「コレラ」の進捗を報告します。

●コロリ病も中津では絶えました。日田の方でも同様の状況と察せられます。

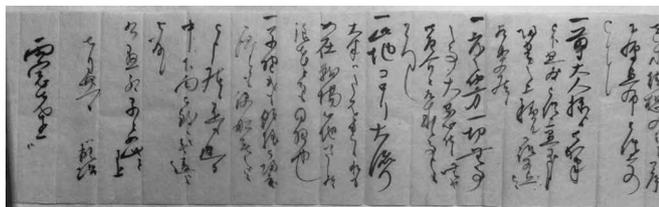
「コレラ」が中津では治まったと報告しました。9月迄は全国で広がりましたが、10月には感染者も減少しました。

江戸時代の「コレラ」は毎年流行し、人々を苦しめました。特に大流行の年が、文政5年（1822年）・安政5年（1858年）・文久2年（1862年）で、「コレラ」三大流行、といわれました。安政6年の「コレラ」は現在の「第3波」「第4波」かもしれません。



■第5通 安政6年7月21日付 広瀬源兵衛宛 広瀬青邨書簡

5通目の書簡は、大阪での「コレラ」が大分県よりも、早くに流行したことを伝えています。



●大阪ではコレラが流行し大半以上が倒れ、まるで戦場です。

この書簡は大阪の「コレラ」の激しさを報告し、大半以上が倒れたと報告しました。現在、日本でも「コロナ」の激しさを確認できます。

次の書簡は「コレラ」による医療への圧迫が窺えます。

■第6通 安政6年9月1日付 相良善治宛広瀬久兵衛書簡

6通目は豆田町医者の相良善治宛で、久兵衛は福岡の医者の状況を述べています。

積算講習会を受講して

佐伯支部 福井大輔

私が一級建築士（令和2年度取得）になって初めての講習会です。

受講理由は、日常の業務のレベルアップ、また実務においては、津久見市の設計事務所にお世話になっていた時に、市営アパートの改修工事調査設計業務に携わる機会がありました。その中において、公共の積算業務を経験させて頂きましたが、初めてということもあり、所長の指導等ありましたが、今一度、復習も兼ねて受講しようと思いました。

現在は建築、不動産、設計の会社に所属し、設計業務を行っていますが、私は元々、建設会社、工務店に所属し、施工管理の業務を10年以上経験し、その中で積算、見積りの業務に触れる機会はありましたが、積算を勉強するという機会はこれまで無かったので良かったです。

内容としましては、「平成29年建築数量積算基準・同解説」に基づき、躯体～仕上げを全5回に渡り、（公社）日本建築積算協会の講師の方がわかりやすく、また丁寧に解説して頂き、大変勉強になり、今後の業務に生かせる内容でした。また、解説の途中には、民間と公共の考え方の違い、講師の方の実務上での経験等も話して頂き、非常に内容の濃い時間となりました。ありがとうございました。



現在も講習会、建築士会等の活動、及び法改正等に関する情報をメールにて頂いており、随時チェックしています。今後は脱炭素に向けての法制度の改正の最新動向、及び、持続可能な社会に向けての一級建築士としての関わり等の情報は気

になるところです。また昨年度、「おおいた木造塾」に参加させて頂きましたが、木造に関しての講習会も希望です。

まだまだコロナ禍が続くようですが、現在、佐伯市在住の為、配信、リモートでの講習会も希望です。



建築士会の会員の方々との情報交換、親睦等の交流も行いたいのですが、なかなか難しいですね。

一級建築士になり、まだ1年ですが、2年後の管理建築士取得が当面の目標です。

今後も建築士会の講習会、活動に可能な限り積極的に参加したいと思います。

よろしくお願い致します。



積算講習会を受講して

大支部 荒木 明

新型コロナウイルス感染症に端を発した、原材料価格の高騰、さまざまな商品の値上げ、資材不足等により、「当初の予算よりも見積がオーバーしてしまった」という声をよく聞くように、建築コストの調整に苦労されている方が多いのではないのでしょうか？私もこれまでの経験則では予測しづらい状況下で、予算に合わない見積書を前に「うーん」と唸る機会が増えました。

現在は設計書を作成する機会はありませんが、積算を基本から学ぶことで、精度の高い数量や金額の管理が可能になれば、と積算講習会を受講しました。

講習会は、(公社)日本建築積算協会九州支部の青柳正尚氏を講師に迎え、令和3年10月から令和4年3月にかけて、計5回開催され、毎回約30名程度の方が参加されていました。

講義は「建築数量積算基準・同解説」をベースとして、各工事区分における基本的な積算方法をはじめに、積算時に特に大事なポイントや、間違いやすいポイント、勘違いしている人が多いポイント等をピックアップしながら、丁寧にご説明頂きました。

(具体的な説明資料の例)

2 型枠

① 梁と床板などを除き、接統部は1か所 1.0m² 以下の場合は、その接統部分は差し引かない

◆ 梁と床板の接統部の型枠

◆ 柱・梁・壁の接統部について
接統部は1か所 1.0m² 以下の場合は、その接統部分は差し引かない。

◆ 接統部の計算

柱と壁 = $3.00 \times 0.2 = 0.60\text{m}^2 < 1.0\text{m}^2$ 柱の型枠は差し引かない
 梁と壁 = $6.00 \times 0.2 = 1.20\text{m}^2 > 1.0\text{m}^2$ 梁の型枠を差し引く

④ 勾配が3/10を超える斜面部分

- 9 -

この解説本を理解出来れば積算は可能なようですが、実際のところは、文章による説明が多く、中々理解できないところが多くあるため、図解付きで基礎から教えて頂けるこの講義は、とてもわかりやすかったです。

(具体的な説明資料の例)

附合物による欠除について

欄木等 高さあるいは幅が0.05m以下は欠除が無いものとする。

天井 カーテンボックスの取合

- 10 -

実際に手を動かして積算をしてみると、まだまだ理解出来ていない点も多くあると思いますが、今後の設計活動に役立つことを期待しています。

(公社)日本建築積算協会九州支部の青柳正尚氏を始め、ご協力いただいた方々に感謝申し上げます。



「七島蘭ワークショップinおおいた」へ参加して

事務局 丹生和美

12月5日(日)、大分支部公益事業「七島蘭ワークショップinおおいた」に参加させていただきました。七島蘭は従来、沖縄のみで栽培されており、それが大分へ渡ってきました。現在は大分県国東地方だけで生産されていますが、生産農家も少なくなり大変希少価値の高い作物であるということに大変衝撃を受けました。

講師の姫野先生から七島蘭のお話を聞き、いよいよ製作です。今回作るのはクリスマス、年末年始にもってこいの亀とリースです。まずはバラバラの七島蘭を指先でねじって綱？を作りました。この作業がとても大変で、指先がつりそうになる程でした。亀はとても複雑で、いったいどうやってあの形になるのか想像もつきませんでした。姫野先生とお手伝いの安倍さん、高橋さん、小関さんの指導のおかげで、短時間で立派な亀が出来上がりました。



次はリースです。こちらまずは綱？作りからです。弱音を吐きながらもなんとかリースの形が出来上がりましたが、すでに指先の力はなくなっていました。しかしここからがお楽しみです。ゴールドの葉やまつぼっくり、たくさんの木の实、ローズマリーなどで小さなスワッグを作ってリースを飾りつけていきます。指先の疲れも忘れ夢中になりました。同じ材料を使っているのにみんなそれぞれ違って、自分にはないアイデアにハッとさせられたり、とても楽しい時間を過ごすことができました。

今回のワークショップでは、伝統を守り伝える方たちの思いに触れ、いろいろと考えることが多くありました。また、1本の線から想像もできない立体

を作り出す技術に感動しました。七島蘭の魅力なのだと思います。日々の生活に追われ、気づけば無趣味になっていた自分にとっても良い刺激になりました。今後は建築士会のイベントにも積極的に参加し、自分自身のスキルアップや趣味につながる何かに出会えるといいなと思います。



九州オルレ「奥豊後コース」をめぐる

事務局 福田 梨恵

【九州オルレ公式ホームページより】

「オルレ」は韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州の言葉で「通りから家に通じる狭い路地」という意味です。

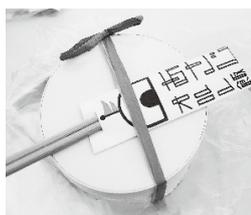
済州ではなじみの深い言葉ですが、トレッキングコースとして名付けられてからは韓国国内で有名になりました。

オルレの魅力は海岸線や山などの自然、民家の路地などを身近に感じ、自分なりにゆっくり楽しみながら歩くところにあります。

ぶんご大野里の旅公社からガイドを招いて、参加者27名で朝地駅（JR豊肥本線）を朝10時にスタートしました。シニアから小学生まで幅広い年代の方が参加していました。

ハイキングに近いような勾配を山のほうへ向かって進んでいくと最初の経由地「用作公園」に到着。見ごろは少しばかり過ぎていましたが、まだ残っていた紅葉を休憩がてらのんびりと堪能しました。その後は普光寺（高さが11.4mある摩崖仏が有名）へと立ち寄り、近くの休憩所で「オルレ弁当」の昼食（写真参照）。

わっぱに入ったご飯の上におかずが隙間なくみっちり詰まっております、食べ応えもある美味しいお弁当でした。



おなか一杯になった後は「十川の柱状節理」を横目に見ながら、最も勾配のきつい「岡城址」へ。

普光寺からは約4.5kmの道りを半ば山登りのように歩きました。雨上がりでなおかつ落ち葉の積もった道が多く、滑らないように歩くのに一生懸命でした。岡城址は紅葉もまだ残っており、多くの観光客がいました。景色も素晴らしく、何度来ても気持ちの良い場所です。岡城址からゴールの豊後竹田駅へは町なみを眺めながら散策するような気持ちでそれほど苦も無く到着しました。



トータル12kmの行程で日頃運動不足の身体には良い運動となりました。

一緒に歩いた小学校低学年と中学年の子どもたちはとても活発で、途中途中で元気をもらいながら楽しくおしゃべりしながら歩くことができました。オルレでは日ごろ歩くことのない道を新鮮な気持ちで楽しむことができます。今回は50代以上の参加者が多かったですが、若い方にも今後は是非積極的に参加していただければと思います。



（普光寺にて休息）



（岡城址にて）



宇佐まちなみ修景隊

宇佐支部 支部長 梶田 康 一

副支部長 西 胤 和 弘

本年度、宇佐支部は「宇佐まちなみ修景隊」の活動として「97式艦上攻撃機に関連する格納庫」について調査を行いました。

調査結果については、令和3年12月28日(火)に大分市生石の『ブリック・ブロック』にて講演会を開催しましたので、その時の資料を基に報告致します。

この講演会は「宇佐まちなみ修景隊」から梶田と西胤が参加し、宇佐市教育委員会の安田晃子氏と合同で講演を行いました。



1. 調査目的について

宇佐市は、種子島沖で引き揚げられた97式艦上攻撃機を取得し、その実物展示に向けた方針を本年度検討した。

それを受け、「宇佐まちなみ修景隊」は97式艦上攻撃機に関連する建物である「第4・5・6格納庫」に特化した調査を行った。



2. 建物配置について

配置図については、米軍のガンカメラで撮影された写真資料をもとに検討を行い、それに基づいて配置図を作成した。

格納庫は駐機場に直接面した施設エリア西側中央部に位置しており、当初は3棟が別々の建物で、お互い3m程度離れて配置されていると考えていた。

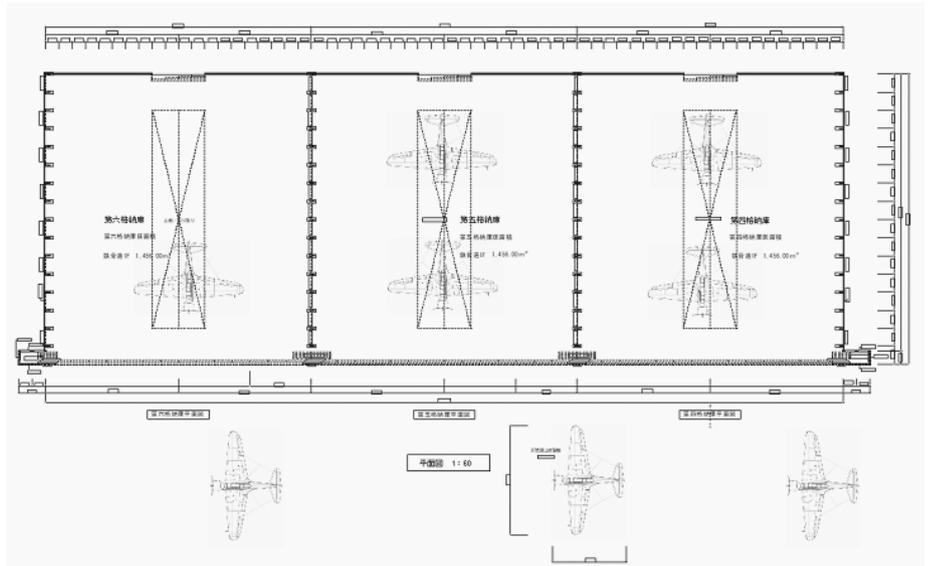
しかし、写真資料を改めて確認すると中央部第5格納庫の両脇柱は、Y型のラチス柱1本であることが確認出来たため、3棟の建物は別棟ではなくお互い繋がっていることが判明した。

また、写真より各棟間には間仕切壁がないことも確認できた。



3. 平面図について

3棟の建物は、前述の通りY型のラチス柱で繋がっており、17列で構成されている。1棟の間口は、約36メートル桁行方向は、約40メートルと考えられる。

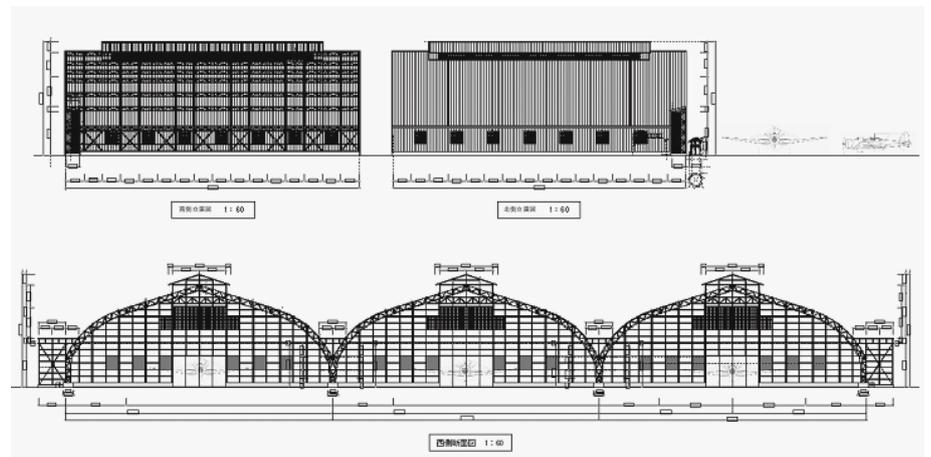


4. 立面図について

写真にて確認できたY型のラチス柱形状を忠実に図面化した。

格納庫入口正面は、全面ハンガー戸で、両端に鉄骨の骨組だけの戸袋がある。

屋根は、採光及び排煙に有効な越屋根となっており、高さは約16メートル、軒高は約4.2メートルで両サイドはアール型の曲線となっている。



5. 模型製作について

今までの図面を基に、1/144スケールにて製作を行った。

内部の構造をわかりやすくするため、外装部は透明の亚克力板で覆った。



6. 今後の課題

2020年、千葉市で旧陸軍気球連隊の格納庫だった建物が解体された。その鉄骨の架構方法は、「ダイヤモンドトラス」と呼ばれており、今回の格納庫もその構法の一つではという意見が検討中に持ち上がった。

しかし、今回調査検討した資料においては詳細が確認出来なかった。

空爆時の写真から判断すると、ラチス材の梁と桁を用いた工法ではなかったのかとの見解もある。

これについては、他の詳細検討と併せて今後も引き続き検証していく予定である。





「和室学 ―世界で日本にしかない空間―」 出版記念講演会について

事務局 安倍 秀 士

令和3年11月28日(日)にホルトホール大分で大分大学の鈴木義弘先生(会員)の講演会(大支部主催)が開催されました。これは、令和2年10月に出版されました本(共著)の出版を記念して開催されたものです。本書は、日本建築学会に設置されました「日本建築和室の世界遺産的価値特別調査委員会」の活動の成果であり、和室について様々な角度から解説しております。和室について改めて考える機会を設け、建築の質の向上に寄与できればと企画しました。

当日は、会員以外に一般市民の方、豊関係、ふすま等表具関係、左官の材料関係の方等、和室に関する多様な職種の方の参加をいただきました。先生より、和室の来し方、いま、行く末について語っていただきました。

この講演をきっかけに、和室に関する団体の皆様がお集まりいただき、これからの和室について語り合えることができると考えております。

(本について)

書 名：和室学 ―世界で日本にしかない空間―

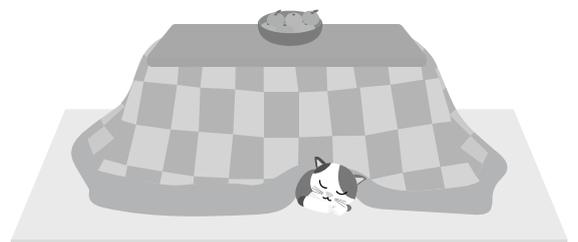
編 者：鈴木先生ほか10名

発行所：株式会社 平凡社

価 格：3,740円(税込)



補遺：貴重な講演の機会を与您にいただきましたこと、ひとえに感謝いたす次第です。日本近代住宅の計画史(『中廊下の住宅』住まいの図書館出版局・2009年)を公刊して干支が一巡りました。光陰矢のごとしですが、この前後から一貫して「和室」というわが国固有の空間に直面し、この研究課題から逃れられなくなっている中で、日本建築学会の大先輩をはじめとした多くの方々にとっても、和室消滅への危惧が広まっており、このような研究組織に巻き込まれました。数年間の議論の一区切りとはいえ、書物になるとは当初は予想だにせず。さて、先の建築士会全国大会(広島・2021.11.20)の記念対談において、養老孟司氏が「建築は日常生活を勝手に変えてしまう、しかも無意識に……」「日本間がすべて洋間になった、誰が決めたのか、いいと思っているのか、真面目に考えている人はいるのか」という主旨の発言がありました。これに明快に答えることができる研究成果を示さねばと、身を引き締めています。<鈴木>





「紙管間仕切りシステムを利用した 防災活動パネル等の展示」について

大分支部 事務局 安倍 秀 士

令和3年8月11日(水)から21日(土)までの11日間、ホルトホール大分のエントランスホールで「建築士の集い 大分大会」(講演会等本行事は最終的には中止となった。)の行事の一環として、「紙管間仕切りシステム」を利用して、大分支部青年部造形班が、九州各県の防災活動と地域実践活動のパネル展示を行いました。

2018年から紙管設置のワークショップを実施してきました。昨年に続いて今年もコロナ禍の影響で展示のみの活動となりましたが、各県建築士会の活動を多くの県民の皆様へ知っていただくことが出来たのではないかと考えております。





大分支部青年部造形班 素材研究会 テーマ「組子細工」について

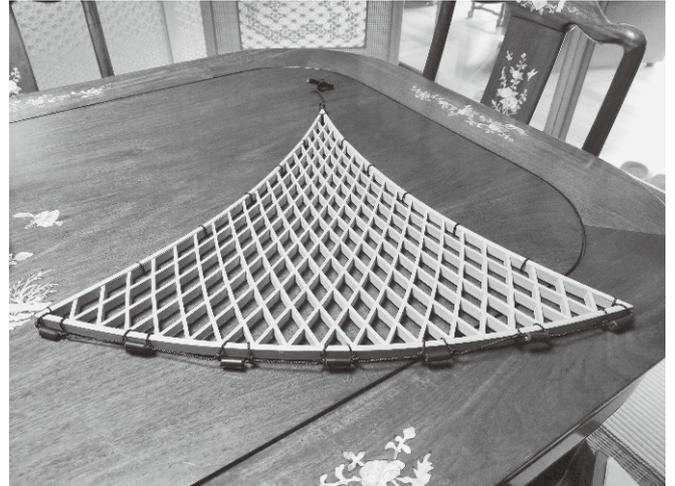
事務局 安倍 秀 士

来年度（令和4年度）、大分支部青年部造形班の素材研究会では、「木製建具」についての勉強会を予定しております。令和3年度の連合会の伝統技能者表彰者に、臼杵市の有限会社板井建具店代表の板井秀之様が受賞されました。板井様は令和3年11月に発表のありました、厚生労働省の2021年度「現代の名工」にも選ばれております。令和3年12月に大分支部会員2名で板井様宅にお伺いしましてお話をお聴きし、建具も拝見させていただきました。組子細工のうちで最高に技術のいるものとされている「干網」という組子も手に取って説明いただきました。

会員の皆様へ組子細工を知っていただきたく企画しております。

詳細は改めてお知らせします。

「干網」



「臼杵石仏」（後ろの建具）

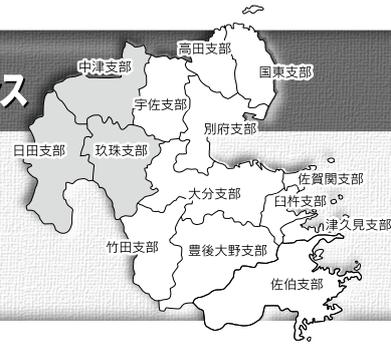


PERSONAL INFLUENCE パーソナルインフレンス

個人が他人に及ぼす影響力

我が街の建築士紹介

(掲載については順不同です)



- ★氏名 宇佐 夏季
- ★生年 平成10年
- ★勤務先 株式会社 宇佐建設
- ★趣味 姪っ子と遊ぶこと

★将来の夢、モットー等

昨年より入会させていただきました、宇佐夏季です。私は小学生の時に自分の家を自分で設計すると決め建築士の資格を取得しました。

しかし、資格を取得しただけでは全然だめだと日々痛感しているところです(笑)

現在の業務は主に公共構造物の補修等を行っており、建築の知識は教科書上で知ったものばかりです。ですが、様々なことを知れば知るほど関係ないと思っていたことが実は繋がっていたりと、日々驚きの連続です。

現在新型コロナウイルスの関係で建築士会の皆様とお会いする機会がないのですが、事態が終息し、皆様にお会いしたくさんの経験を積んで行きたいです。よろしくお願ひします。



宇佐 夏季 (玖珠支部)

- ★氏名 安養寺 哲矢
- ★生年 昭和54年
- ★勤務先 安養寺建設有限会社
- ★趣味 ゴルフ キャンプ

★将来の夢、モットー等

地元日田で住宅や店舗の設計・施工、公共工事の施工管理等の仕事をしています。

会社は1965年に祖父が創業し、父がそのあとを継ぎ、私が3代目として事業を継承しています。

伝統的な建築文化や技術を大切に継承しつつ、時代のニーズにあわせた新しい可能性を積極的に活用したものづくり・住まいづくりを展開したいと考えています。



安養寺 哲矢 (日田支部)

- ★氏名 山下 智
- ★生年 昭和50年
- ★勤務先 きいぶらん 代表
- ★趣味 ロードバイク・ラン

★将来の夢、モットー等

大分県の木造建築推進構造設計事務所きいぶらん代表の山下 智です。

新耐震以前の50年生まれ、木造の構造設計が生業です。会社名は木のプランできいぶらん、親しみを持って覚えてもらえる様に建築の一般用語を使いました。

学生時に(楽しく趣味で)独学で学んだプログラムを生かして既往の計算ソフトに捉われない難しい設計を得意とし、住宅から中大規模、体育館、老健、CLTの設計など幅広く対応しています。大分では会員の板場さんの元で湯布院のショップもくあみの社でウッドデザイン賞を受賞したことがあります。

趣味でロードバイクに乗っていますが日田の寒さに負けまして年末からランに切り替え月100kmペースで走っています。40を超えて始めた趣味なので実力はお察しで。

最近では大分県木連の木材利用アドバイザーを拝命して、非住宅の木造化の相談を受け付けています。木造で出来るか希望の計画があれば行政、民間問わずご相談頂ければ何よりです。会員の皆様の木造化の助けになる様に努力して参りますので宜しくお願い致します！



山下 智 (日田支部)

- ★氏名 尾垣 俊夫
- ★生年 昭和56年
- ★勤務先 尾垣俊夫建築設計
- ★趣味 建築

★将来の夢、モットー等

中津支部青年部の尾垣俊夫です。

地元中津で8年前に独立し、中津市を主に建築設計活動を行っています。

2020年、移動が制限され小さな生活範囲で生活をする事になり、地元中津の事を改めて深く考える契機となり、沢山の魅力を発見する事ができました。

この経験は、私にとって大きな自信へと繋がり、建築を通して今後、多くの人へ発信できたらと思っています。

今、中津で設計活動を行う事に、魅力と可能性を感じ、とてもワクワクしています。



尾垣 俊夫 (中津支部)

MY WORK

- ★建物名称 明野しいのみ保育園
- ★建築場所 大分県大分市明野西2丁目159番1
- ★用途 保育所
- ★床面積 1,025.55㎡
- ★構造 鉄骨造（一部RC造）
- ★設計者 株式会社大有設計
- ★施工者 平倉建設株式会社
- ★竣工 令和2年8月
- ★設計趣旨

住居専用地域に建つ保育園の建替計画である。園庭には銀杏と桜が立派に根を張り、子どもの成長を見守っている。園庭の縮小が必要であったが、二本のシンボルツリーは残す計画とした。

また、近隣の公園を借景として計画に取り込むことで、緑が感じられる園庭となった。1階と2階が切り離された外部空間とならないよう「くさのすべりだい」でつなげる計画とした。

不燃を求められる内壁にも不燃塗料を利用することで県産木材を採用。

「ひみつきち」や「おみせやさん」、本棚等家具も木材とすることで優しい空間となった。



「くさのすべりだい」



「そらへのかいだん」



「ひみつきち」と「おみせやさん」

- ★建物名称 のつはる天空広場 野外ステージ
- ★建築場所 大分県
- ★構造 鉄筋コンクリート造平家建、膜屋根鉄骨造
- ★設計者 株式会社 松井設計
- ★施工者 株式会社 朝来野工務店
- ★設計趣旨

地域振興の促進、交流の場として活用できる屋外ステージです。スポーツ、レクリエーションのほか、音楽や農業イベントなど、自然に囲まれた美しい環境で訪れた人々が天空広場を感じることができるような設計としました。また、ステージ裏は舞台リハーサルなどに使用する多目的ルームを併設しています。



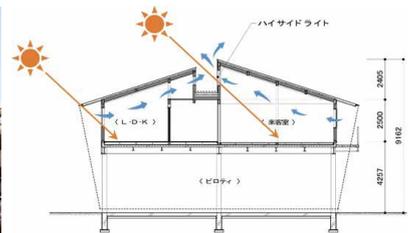
MY WORK

- ★建物名称 広瀬モータース
- ★建築場所 大分県別府市石垣東2丁目10-12
- ★用途 事務所兼用住宅
- ★床面積 延べ面積 429.26㎡
- ★構造 木造一部鉄骨造2階建
- ★設計者 株式会社 幸建設 幸 康史
- ★施工者 株式会社 幸建設
- ★設計趣旨

住宅・事務所共に木の温かみある空間とするため、在来木造とし、柱・梁を露出させ、内・外部共に杉材をふんだんに使用した。1階の作業スペースは出来るだけ柱の少ない空間とするため、2階が木造、1階が鉄骨造の混構造とした。

平面計画は建設コスト削減のため、正方形に近い平面形状とし、南側に住宅、北側に事務所を配した。

また、住居、事務所ともに十分な採光と通風を確保するために南・北の屋根を分割し、ハイサイドライトを設けた。更に外壁との連続性を持たせる事で、外観上のアクセントにした。



- ★建物名称 鉄輪地獄地帯公園便所
- ★建築場所 大分県別府市大字鶴見字鶴見952番
- ★用途 公衆便所
- ★床面積 27.44㎡
- ★構造 RC造平屋建
- ★設計者 別府市建設部施設整備課 三ヶ尻 隆浩
- ★施工者 (有)アーク
- ★設計趣旨

建築場所である鉄輪地獄地帯公園は、「1日中過ごせる公園の実現」を目標に整備が進められており、同敷地にはドッグランや大型の遊具などが設置され、休日には多くの人で賑わっている。また、昨年4月にはPark-PFI方式によるグランピング施設「グランシア別府鉄輪」が開業し、公園の新たな価値を創出している。今回の便所の建築敷地は、そのような様々な利用形態をもつ公園の園路沿いにあり、その中でも自然木を多く残したエリアである。

建物の配置は、2棟に分けることで散策路の小道を形成するよう計画した。また、グランピング施設から見下ろされる位置となるため、高さを変えた屋根が三枚重なり合うように計画し、上部からの意匠性に配慮した。外壁はコンクリート打放しとし、部分的に半割した竹を型枠に仕込むことで、外壁に変化と別府らしさを与えた。

建築は完成しているが、この原稿執筆時点ではまだ公園整備は終わっていないため、公園利用者のリアクションは分からないが、たくさんの人に大事に利用してもらえたらと思う。



BOOK My Best Book

マイベストブック

『アイドルホース列伝』

著者：小川隆行

佐賀関支部 井上 雅順

最近、加熱している「ウマ娘」なるスマホゲーム。

実在した競走馬を美少女キャラに擬人化した「ウマ娘」をトレーナー（プレイヤー）が育成し、レースを戦わせて成長させていくゲームなのだが、同時進行のTVアニメも感動もので、フランス凱旋門賞で日本のエルコンドルパサーをハナ差で制した海外馬が、今度は逆に日本に乗り込んできて、エルと同期の日本総大将スペシャルウィークが迎撃したジャパンカップや、トウカイテイオーが三度の骨折をして引退説が囁かれる中、一年ぶりに復帰した有馬記念でビワハヤヒデとの激闘を制したファン号泣ものの伝説のレースなど凄い再現度。競馬関係者から聞こえてくるのは「JRAの史実に基づく細かいキャラ設定と制作陣の馬への愛が異常」という事。最初は自分も「サラブレッドを馬鹿にするな」と冷めた目で静観していたが、今ではすっかり「うまびよい♪うまびよい♪」とテーマ曲を毎日口ずさんでいる。なぜ、競馬関係者、競馬好きからこんなにも絶賛されるのか？答えはこの本を読む事で理解できる。

（以下本書目次より一部抜粋）

昭和から令和まで、時代を超えて語り継がれるスターホース101頭の伝説を一冊に！

1970年代、地方競馬から中央へやってきたハイセイコーが日本中を熱狂の渦に巻き込んだ。元祖アイドルホースの誕生である。以来50年、「芦毛の怪物」オグリキャップ、「不屈の帝王」トウカイテイオー、「異次元の逃亡者」サイレンススズカ、「日本競馬の至宝」ディープインパクト、「最強牝馬」ウオッカ、「愛すべき問題児」ゴールドシップ、「奇跡の白毛」ソダシなどのスターホースから、クセ馬、スピード王、ダートキング、ブロンズコレクター等の個性派まで。競馬ファンの心に刻まれた輝きは何十年と時がたっても色あせない。

「史実を知れば、もっと好きになる。」……是非とも読んでほしい。



『歌舞伎町セブン』

著者：誉田哲也

臼杵支部 松井 健児

私は、読書がとても好きで、かつ、紙の本派です。勧善懲悪ものが、特に好みで、今野敏さん、表題の誉田哲也さん、大沢在昌さん、ジェフリーアチャー、アガサクリスティーをよく読みます、特に気に入ったものは、数十回と読みますので、気づいたらボロボロになっていたり、落丁が発生したりしています。

「歌舞伎町セブン」は、現代の必殺仕事人のといえる存在で、ダークヒーローものに、分類されます。法で裁けない悪を報酬の多寡に関わらず、全員一致で悪と決めたら必ず裏をとり、滅する。場所は、歌舞伎町「歌舞伎町ルール」に基づき、必ずしも法に縛られなかったりしますし、ドロドロしている部分もありますが、必ず結果が出ますので、読み終わったあとは、充足感が得られます。

誉田さんシリーズには、竹内結子さんでドラマ化された、姫川シリーズやジウのシリーズがありますが、別シリーズのキャラが端役で、ちょっと出たり、捜査一課長の名前がちゃんと同じですので、そこからも楽しみが広がります。首藤瓜於さんの「脳男」生田斗真さんで映画化されましたが、これもダークヒーローもので、原作・映画ともに、非常に面白いので、是非ご一読を。歌舞伎町セブンは、ジウシリーズとリンクしており、9冊くらい出版されています。

ハズレ無し、是非お読みください。





My Best Book



マイベストブック

『運のいい人が心がけているちょっとした習慣』

著者：菅原 圭

佐伯支部 長田 孝治

この本で筆者が「運は生まれつき決まっているわけではない。運は変えられる。自分でコントロールできるものなのだ。よりいい運に強化していくこともできる。」と実感していると言っていることにまず興味が湧いてこの本を手にとりました。

本の内容紹介を一部抜粋してみましょう。

「運がいい」という人にみられる共通項は何よりも明るく、素直なことだ。現状に大きな不満を抱くこともなく、いつでも視線は前を向いている。

「運がいい」人は、まわりの人への心遣いが感動的なくらい行き届いている。まわりの人とうまくいかなければ、自分が心地よくないからだ。

運の正体があるとしたら、それはエネルギーだ。生命エネルギーや宇宙に満ちているエネルギー。不満やイラだち、怒りは大きなエネルギーロスになる。反対に、毎日を明るく、喜んで過ごす人はエネルギーロスをしないどころか、その都度、新たなエネルギーを沸き立たせている。このエネルギーが運を引き上げていく原動力になるのだと、私は確信している。

本書ではこれまで出会ってきた「運がいい人」たちから学んださまざまな心がけを紹介していこうと考えている。生きていくうえの基本的な姿勢から、身のまわりを片付けるということまで多岐にわたる。

本書を読んで共感できることが多く、書いてあることを一つずつ実行してみようと思える本だと思います。ご興味のある方は是非、ご一読ください。



『世界で一番やさしい建築用語』

著者：佐藤秀 S H建築事務所

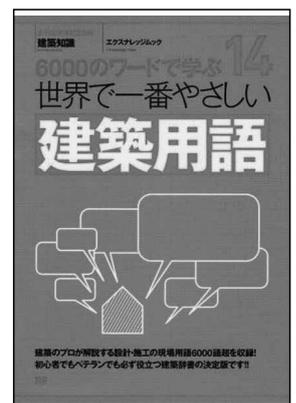
豊後大野支部 伊東 勇治

ご存じの方は多いと思いますが、この本はいくつかシリーズ化されており、「RC・S造設計編」「木造設計編」「確認申請」「建築構造編」「建築設備」…等多岐にわたり出版されており、文字通り建築に必要な知識をやさしく丁寧に説明されている本です。勤務先の会社でもいくつか購入し、今でも読み返す事があります。

中でも私が一押しするのは「建築用語」です。大学を卒業し会社に入社したばかりの頃、建物の部位、部材、工法など現場や会議中に飛び交う建築用語、学生時に習った用語はもちろんありますが、初めて耳にする用語もありました。当時の私には気軽に用語の意味を聞く先輩や同僚はいなかった為、上司にその用語について質問をしていましたが、「そんな簡単なことも知らないのか」と言わんばかりの事も言われる事もあり、段々用語についての質問がしにくい状況になりました。（もしかしたらこの記事を読んでいる人の中にも、経験がある人がいるかもしれません）

そんな時、偶然この本を見つけ、購入にしました。用語についての索引もしやすく、用語についての説明も簡単すぎず、詳しくすぎない内容で調べたいときにすぐ調べられる便利な本でした。「世界で一番やさしい」は伊達じゃないですね。

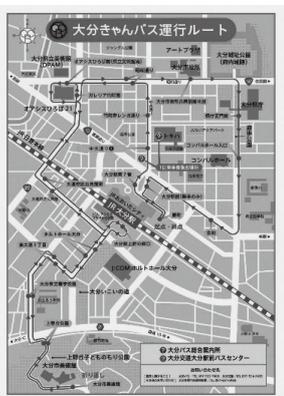
今現在この本は私の手元には無く、後程入社した後輩に譲りました。ある程度の知識が身に付き不要になったというのも少しありますが、私がいつまでも持っているより、後輩に譲り渡しどんなに小さいことでもわからなければ、まず調べる癖をつけてもらいたいと思っています。自分で調べた内容は、言葉で聞くより深く自分の知識として深く蓄積されていくものだと思います。



我が街紹介

大分支部 今 永和 浩

大分市以外から、自家用車で大分市内中心部に来られる方も多いと思います。映画館や県立美術館などを利用する場合は、有料駐車場に停めることになります。大分市内にはパークアンドライドが出来る駅が沢山あります。近隣の駅駐車場に車を止め公共交通で中心



市街地を訪れると渋滞に巻き込まれることもなく、駐車料金もかかりません。

私は隠れたパークアンドライドが出来る場所として、上野の森美術館(大分市美術館)を利用しています。上野の森美術館は、原生?の照葉樹林の森を出来るだけ壊すことなく、大規模な造成をせずに造られました。

美術館の敷地内には子供向けの遊具やトレッキングコースがあり、各所に駐車場が準備されています。

ここには市内を巡回する「大分きゃんバス」というワンコインバス(1回乗車100円、1日乗車券200円、なんと土日子供無料)が30分毎に運航しており、市立、県立美術館のコラボ展や、いいちこ音の泉や、グランシアターなどのコンサート、



映画・ショッピングなど大分駅を中心とした移動がエコでリーズナブルになります。

きゃんバスはオアシス広場にも停車しますのでOPAMへの移動もスピーディです。丁度、庵野秀明展のセッティングの真っ最中でした。



最後に、将来きゃんバスのコースに組み込まれるであろう、復元整備された「大友氏館跡公園」まで足を延ばして見てください。発掘調査に忠実に再現された庭園を歩き戦国に思いを巡らし、疲れた時はタウトナコーヒーで一息、歩得8136歩でした。



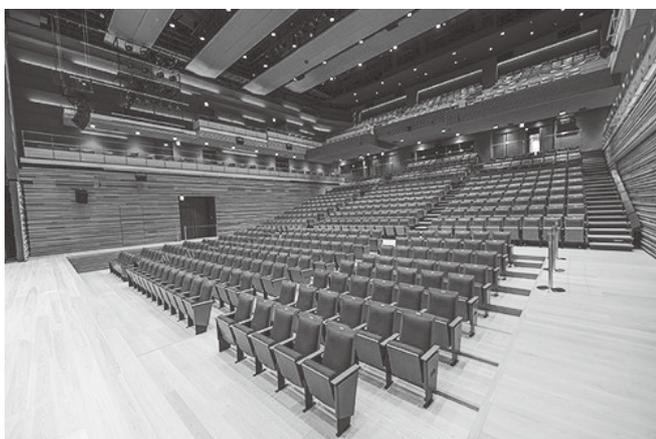
我が街紹介

佐伯支部 長 田 孝 治

旧佐伯文化会館が老朽化の為に新たに建設された、さいき城山桜ホールをご紹介します。



さいき城山桜ホールは多目的ホール大・小を始めスタジオや会議室、食育活動室や子育て・子育て支援室、市民団体が活動を行えるスペースなど、様々な機能を備えた複合交流施設です。また、館内には自由に利用できるフリースペースがありますので、どなたでも気軽にご利用いただけます。



— さいき城山桜ホール開館記念 —

伊勢正三 ISE SHOZO

SPECIAL CONCERT

2020

さいき城山桜ホール
SAIKI SHIRAYAMASAKURA HALL

2020年11月29日(日)

全席指定 ¥5,500 (税込) 開場 17:30 / 開演 18:00

プレイガイド 9月13日(日)～ ※お1人様2枚まで
ホール窓口販売 毎日販売時間 10:00～17:00
インターネット販売 ライブポケット https://t.livepocket.jp/sakurahall_saiki

先行販売 ※お1人様2枚まで
9月6日(日) 10:00～9月12日(土) 17:00まで
ホール窓口にて先行発売

COVID-19
新型コロナウイルス感染拡大防止のため、次の事項についてご理解ご協力をお願いします
・ご来場者のお名前と連絡先の提出をお願いします。(チケット半券の裏面に記入していただき入場時に回収します)
・万が一感染が疑われる方が出た場合、いただいた情報は保健所等の公的機関に提出しますのでご了承ください。
・マスクの着用をお願いします。マスクの着用のない方は入場をお断りいたします。
・咳、喉痛、発熱の症状がある方はご来場をお控えください。(37.5℃以上の熱のある方は入場をお断りいたします)

一般お問合せ **0972-24-2228** 【さいき城山桜ホール】
〒876-0831 大分県佐伯市大手町2丁目2番28号

主催：さいき城山桜ホール運営委員会

2020年10月31日に開館した『さいき城山桜ホール』開館記念イベントの第1弾として、当市のお隣の津久見市出身で佐伯市歌の作詞作曲を手掛けた伊勢正三スペシャルコンサートが開催されました。美しいメロディーと感情溢れる詩で綴られた聴きごたえのある名曲に加え、今なお進化し続ける伊勢正三の楽曲の数々をライブで堪能しました。

佐伯にお立ち寄りの際は各種イベントも行われていますので、是非一度このさいき城山さくらホールを見に来てください。





マーボ어의旅先日記 その16

会長 井上正文

「湖南の国宝建造物を訪ねて」

前号の日記でも述べた通り、琵琶湖周辺は多くの歴史文化であふれています。滋賀県内に現存する国宝建造物は15ヶ所にも及びます。都道府県別では全国3番目（京都府、奈良県、滋賀県）の多さかと。

今回は、琵琶湖南部（湖南市）の3つの国宝建造物を中心に紹介しましょう。滋賀県の南東部にあたり、湖南市を訪れたのは平成26年春、桜の頃でした。琵琶湖岸周辺は比較的交通の便もよく、京都からも遠くない馴染みの深い地域でもあるのですが、この湖南市、さらに南の甲賀市、伊賀市（三重県）となると交通の便もそれほど良いとは言えませんし、九州在住の私には訪れる機会も稀です。しかし、この地域は奈良時代の聖武天皇の御代には紫香楽宮が置かれたこともあり、時代が下り戦国時代には織田信長が手を焼いた伊賀忍者との抗争「伊賀の乱」の舞台ともなりました。さらに、本能寺の変の直後、徳川家康が自領地に辛くも逃げ帰った「伊賀越え」の帰路にもあたり、中世から戦国時代にかけて歴史的舞台にもなった地域でもあります。

さて、湖南市には3つの国宝建造物「善水寺本堂」、「常楽寺本堂・三重塔」、「長寿寺本堂」を目指すべく、東海道本線のJR草津駅からJR草津線の乗り換え、甲西駅（善水寺）と山部駅（常楽寺・長寿寺）を目指しました。



写真1 善水寺本堂

国宝善水寺本堂（写真1）は室町時代前期の建物であり、入母屋造り檜皮葺の端正な姿に見惚れてしまいました。前回の記事でも紹介した湖東の名刹「金剛輪寺本堂」との構造上の共通点が多いそうです。



写真2 常楽寺本堂

次は常楽寺です。ここの本堂と三重塔が国宝指定です。本堂（写真2）は室町前期の1350年の建築であり、檜皮葺。三重塔（写真3）は本堂より古く1270年に再建されたものとか。鎌倉時代の典型的な構造形式の三重塔で軒の出も深く安定感があり、端正な姿を見せています。



写真3 常楽寺三重の塔

最後は長寿寺です。国宝指定の本堂（写真4）は鎌倉前期の建築で、これも檜皮葺の建物です。派手さはありませんが、落ちついた端正な姿を見せています。



写真4 長寿寺本堂

この長寿寺の境内では、国宝建造物の本殿見学以外にとっても心温まる体験をすることができました。入口で拝観料を払う窓口にはご住職の幼い子供さんがお手伝い。境内で休憩していると、その子供さんからコーヒーのお接待（写真5）を受けました。また、休憩所の縁には「信楽焼」の可愛い狸さん（写真6）も鎮座していて、心和むひと時とほっこりした境内の雰囲気堪能することができました。



写真5 長寿寺でのお接待



写真6 信楽焼の狸さん（長寿寺にて）

今回は訪れることが叶わなかった伊賀・甲賀の忍者縁の地域にも、訪れてみたいと思っています。また、次号の「旅先日記」では、紹介できていない滋賀県内の国宝建造物を一気に紹介しようと思っています。



事務局だより

■「新型コロナウイルス感染症関連情報」について
連合会のHPに以下の内容が掲載されております。
ご覧ください。

1. 各種講演会に関する情報
2. 建築士試験・建築士制度に関する情報
3. 各団体等への要請
4. 国土交通省の対応
5. 関連情報

■委員会活動報告及び予定

総務委員会（法務部会）

調査研究・歴史的建造物合同委員会

<第2回>

令和3年12月1日開催 戸次本町帆足本家酒造蔵
議題

1. 歴史的建築物の保存活用に係る調査研究
2. 永年会員等会費のあり方
3. リモート会議に関する取扱

<会員増強特別期間>

例年のとおり、令和4年1月から3月まで「会員増強特別期間」を設け実施しました。

入会者特典や支部特典を設け、新会員の加入促進に努めました。

事業委員会

<第1回>11月11日(木) 士会事務局
議題

1. 積算講習会について
2. 会員親睦事業について
3. 空き家対策事業について
4. 建築士の日関連事業について

1. 「積算講習会」について

<第1回>10月30日(土) コンパルホール

内容：「公共工事の発注者支援業務」「公共工事における積算業務」

「講習その1：総則・躯体（RC造）-1」

講師：大分県建築住宅課、施設整備課

（公社）日本建築積算協会九州支部 青柳正尚 氏

<第2回>11月6日(土) ホルトホール
「講習その2：躯体（RC造）-2」

講師：同上

<第3回>12月11日(土) ホルトホール

「講習その3：躯体（RC造）-3・躯体（S造）」

講師：同上

<第4回>1月15日(土) ホルトホール

「講習その4：仕上げ-1」

講師：同上

<第5回>3月6日(日) 県教育会館

「講習その5：仕上げ-2・改修」

講師：同上

2. 福利厚生事業（会員親睦事業）について

令和3年11月27日(土)に、JR朝地駅から竹田市内を目指す九州オルレ「奥豊後コース」を二十数名参加のもと歩きました。

3. 建築士の日関連事業について

連合会「建築士の日」行事（令和4年6月26日(日)）と連携し、全支部で一斉実施する。

広報委員会

令和4年1月22日(土) 事務局会議室
第2回編集部会開催

調査研究委員会、歴史的建造物委員会（合同）

○ヘリテージマネージャースキルアップ研修

「旧緒方村役場復元改修工事」見学

令和4年2月27日(日) 豊後大野市緒方町

おおいた地域貢献・まちづくり推進委員会

○「襟江亭」の現地見学と講演会

令和4年1月31日(月) 日出町大神

連合会九州ブロック会

○九州まちづくり塾in姫島

令和3年12月11日(土) 姫島村

テーマ「島のくらしが支える景観」

・九州各県から20名参加

■事務局からのお知らせ

案内1

令和4年6月10日(金)の通常総会終了後、大分センチュリーホテルにおいて、永年会員表彰式と懇親会を予定しています。

賛助会員の方も出席されますので、会員も出席いただき交流を深めていただければと思います。

詳細は改めてご連絡いたします。

案内2

「建築士定期講習」の新年度の開催について

(一社)大分県建築士事務所協会と共催で年4回(6月・9月・12月・3月)開催します。会場は大分職業訓練センターを予定しています。

講習日程等の詳細は、改めてご案内します。

建築士事務所所属の建築士の皆様は、定期講習を受講期限内に受講してください。

案内3

「監理技術者講習」について

大分県建築士会では「毎月第2水曜日」に建築工事に特化した内容で「監理技術者講習」を開催しています。特に、一級建築士、1級建築施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、1級管工事施工管理技士等の「建築工事の分野で活躍されている監理技術者」にとりましては、実務に役立つ充実した内容のテキストを使用して講義を行います。CPD6単位が付与されます。

<講習会日程>

○「毎月第2水曜日」に開催します。

○時間 8:50~16:40〔受付8:30開始〕

※8:45~8:50の5分間に講習の運営説明があります。

○会場：(公社)大分県建築士会会議室

○形式：DVD講習

○定員：各回3名程度

○受講料：WEB申込 9,500円/窓口・郵送申込 10,000円

※受講申し込みは日本建築士会連合会HPよりお申してください。

案内4

「既存住宅状況調査技術者講習(新規・更新)の新年度の開催日程について

(公社)日本建築士会連合会のHPに掲載予定です。

当士会HPにも4月以降、新着情報に掲載予定です。

案内5

「会員名簿2022」の作成について

令和4年8月を目途に「会員名簿」を作成します。後日、会員名簿調査シートを送付しますので、提出締切日の厳守にご協力ください。(大分支部の会員は会報に同封しています「調査シート」で4月末までにご提出ください。大分支部以外の支部は4月以降に送付します。)

案内6

「建築士の集い 長崎大会」について

令和4年6月25日(土)に出島メッセ長崎(長崎市)で開催予定です。詳細は改めてご案内いたします。

報告1

「第2回理事会」について

令和3年12月23日 ホルトホール

- ・令和3年度事業執行状況
- ・令和3年度収支決算見込み
- ・令和3年度支部公益事業執行状況
- ・令和4年度役員改選基本方針
- ・委員会設置等規則(広報委員会)
- ・リモート会議に係る取り決め
- ・通常総会の日程
- ・その他

報告2

「第3回理事会」について

令和4年3月16日 コンパルホール

- ・令和4年度事業計画案、収支予算案
- ・令和3年度収支見込とその対応
- ・各支部の役員選考状況の報告
- ・その他報告事項、今後の主な行事予定

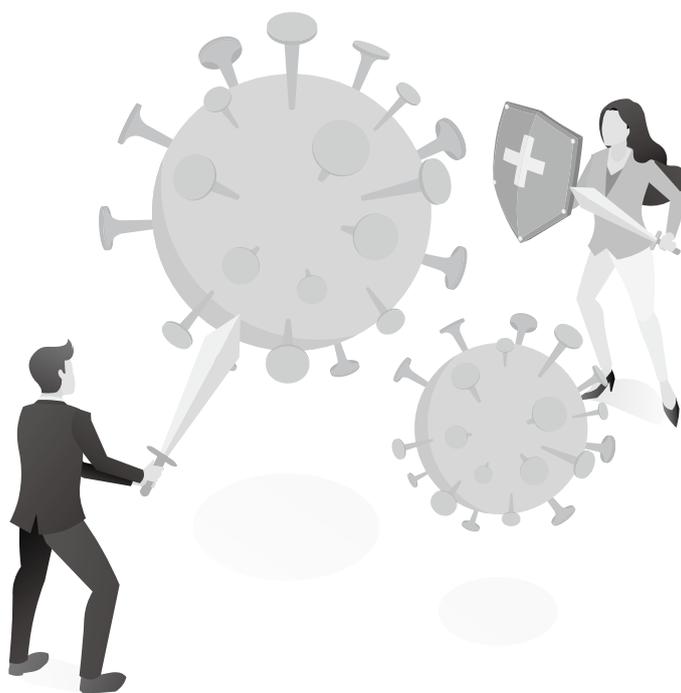
報告3

「第12回建築甲子園」の審査結果について

連合会と都道府県建築士会主催の建築甲子園の審査結果が発表されました。今回も、「地域のくらしーこれからの地区センター」をテーマに提案を募りました。当県からは、県立鶴崎工業高校が出場(県大会出場作品は4点)しました。審査の結果「奨励賞」を受賞されました。

会務行事案内

- 5月26日 第1回理事会
6月10日 総会・理事会・永年会員表彰式
懇親会
6月18日 6/26「よろず相談会」に向けた
事前セミナー
6月25日 「建築士の集い 長崎大会」
6月26日 建築士の日に係る「各支部
一斉よろず建築相談会」
7月中旬 「支部長・事務局・委員長会議」
10月14日～15日
「第64回建築士会全国大会 秋田大会」



広報委員

委員長 〈大分〉 宮 崎 隆 博
委員 〈別府〉 山 本 健太郎
〈高田〉 清 末 幸 生
〈大分〉 後 藤 悟
〈大分〉 竹 宮 浩一郎
〈佐伯〉 志 賀 智 昭
〈日田〉 佐 藤 敏 孝
〈中津〉 日 高 雄 介

編集委員

担当常務理事 〈大分〉 宮 崎 隆 博
部 会 長 〈高田〉 後 藤 憲 二
部 員 〈大分〉 高 橋 大 介
〈大分〉 丹 生 孝 太
〈別府〉 小 山 秀 輝
〈臼杵〉 佐 藤 暢 彦
〈津久見〉 竹 田 光 徳
〈佐伯〉 長 田 孝 治
〈佐賀関〉 井 上 雅 順
〈豊後大野〉 伊 東 勇 治
〈竹田〉 伊 東 政 博
〈玖珠〉 後 藤 聖 和
〈日田〉 熊 谷 高 則
〈中津〉 日 高 雄 介
〈宇佐〉 古 市 憲 司

建築士おおいた

2022.3 No. 128

(非売品)

令和4年3月30日 印刷

令和4年3月30日 発行

編集／発行所

公益社団法人 大 分 県 建 築 士 会

〒870-0045

大分市城崎町1-3-31 富士火災大分ビル3F

TEL 097-532-6607

FAX 097-532-6635

印刷所／いづみ印刷株式会社

大分市高江西1丁目4323番25号 TEL (097) 535-8655

建築士

おおいた

本・支部名	〒	事務局所在地	TEL
高田	879-0625	豊後高田市水取 334 番地 2	0978-22-2216
国東	873-0503	国東市国東町安国寺 718	0978-72-2887
別府	874-0919	別府市石垣東 1 丁目 9 番 31 号 (株)幸建設内	0977-23-6231
本部・大分	870-0045	大分市城崎町 1-3-31 富士火災大分ビル 3F	097-532-6607
佐賀関	879-2201	大分市佐賀関 4-3341-4 (株)セキ土建内	097-575-1120
臼杵	875-0065	臼杵市大字家野 576 番地の 1 春建築設計室内	090-6779-7057
津久見	879-2442	津久見市港町 7-22 一級建築士事務所 たかせ ao 内	0972-82-1203
佐伯	876-0833	佐伯市池船町 19-14	0972-22-5008
豊後大野	879-7111	豊後大野市三重町赤嶺 1922-1 2F 高野建設一級建築士事務所内	0974-22-6606
竹田	878-0026	竹田市大字飛田川 1618-6	0974-62-3711
玖珠	879-4632	玖珠郡九重町松木 4415-2 藤原工務店内	0973-76-3999
日田	877-0026	日田市田島本町 4-1 野村一級建築設計事務所内	0973-24-6022
中津	871-0024	中津市中央町 1-5-24 中津建築会館内	0979-24-3597
宇佐	879-0444	宇佐市大字石田 13 番地の 11 (株)さとう不動産設計事務所内	0978-25-6766
本部	http://www.oita-shikai.or.jp/		

会員増強にご協力を！

～会員二人で、一人の入会勧誘を～



公益社団法人 大分県建築士会